

日本共産党船橋議員団 ニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>

市会議員 石川敏宏 ☎462-4548 事務所☎467-2860	佐藤重雄 ☎432-9872 関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	中沢 学 ☎493-8140
金沢和子 ☎422-5278	渡辺ゆう子 ☎462-7273

「原発なくせ」の声、声、声!!

▶15日、船橋のデモ 「しんぶん赤旗」提供

首相の地元船橋 ドラムとラップで抗議デモ

7月15日、野田首相の地元で声を上げようと、大飯原発再稼働に抗議する2回目のデモ行進が行われ、800人が参加しました。

ドラムとラップのリズムに合わせて、「大飯を止めろ」「原発反対」の声を上げながら、西船橋近隣公園〜JR船橋駅〜天沼公園の約4・5キロを行進、沿道



の注目を集めました。日本共産党の志位和夫衆院議員も参加し、出発前の集会で、「官

邸前のデモを『大きな音』と言いい、『音ではない』と批判された首相は、『多くの人々の声を受け止める』と言い直しました。それなら『再稼働は今からでもやめろ』と言わなければなりません。」とあいさつしました。

東京代々木公園 17万人の大集会

7月16日、ノーベル賞作家の大江健三郎さん、音楽家の坂本龍一さんから9人が呼びかけた「さようなら原発10万人集会」に、

全国から17万人が集まりました。炎天下の一日、「子どもたちを守ろう」「未来を守ろう」「原発ゼロへ」と声を上げる参加者の熱気で埋め尽くされました。

「子どもたちを守ろう」「未来を守ろう」「原発ゼロへ」と声を上げる参加者の熱気で埋め尽くされました。

国民平和大行進

7月19日、今年も核兵器廃絶をめざし、広島・長崎へと全国



▲7・16さようなら原発集会



▶19日、薬田台公園そばを行進中

を行進する平和行進が船橋市内を行進しました。汗を滴らせ、「核兵器の廃絶を!」「原発をなくそう」と声をあげながら歩きました。

「想定外」はゆるぎない

万全の津波対策を

「昨年、東日本大震災を受け、

今年の4月25日に千葉県は「津波浸水予測図」を公表しました。本来であれば、この県の想定を盛り込んだ地域防災計画を船橋市が策定していくことになりませんが、地域の実態が十分に反映されていないなど、実際の計画に盛り込むのが困難になっています。

どんな地震なのか 分からない

「予測図」は、東京湾口10メートルの津波を想定していますが、首都直下型なのか海溝型なのかは不明で、地盤の沈下や建物の倒壊率などは見当

つきません。

また川幅12・5メートル未満は対象にしていないので、若松団地近くの高瀬川などの浸水被害は予測されていません。

3・11の津波2・4mより 低い想定でいいのか

今回想定している湾口10メートルの津波は、湾内では最大3メートル、船橋市では2・3メートルで、東日本大震災で実際に起きた2・4メートルの津波より、低い想定です。県は、新元禄地震震源モデル（延宝地震と元禄地震の2つの地震を基本として最新の

知見を基に提案された地震震源）による津波シミュレーションも行っています。

しかし、これも東日本大震災での津波高よりも低く、最大、最悪の場合に備える数値とはいえません。

これまで想定されてきた3地震（東京湾北部地震マグニチュード7・3、三浦半島断層帯マグニチュード6・9、千葉県東方沖マグニチュード6・8）以外にも、東海・東南海・南海の3連動地震の規模見直しや、三陸沖から房総沖地震など、最新の科学的知見に基づく想定が求められる。

一日も早く 対策の検討を

県の想定が実態に合わず、市は、内閣府の中央防災会議

の想定が出るのを待っている状況です。

震災から1年以上もたち、未だに対策が検討できないという状況は、直ちに改善すべきです。市民の不安に添えるために、市独自のシミュレーションに基づく「津波ハザードマップ」を作成し、「地域防災計画」へ反映させるべきではないでしょうか。



日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

8月23日(木) 弁護士が相談を受けます

9月19日(水)

会場：中央公民館
(部屋は1F入口案内板に掲示)

時間：午後1時～4時

要予約 ☎ 436-3030